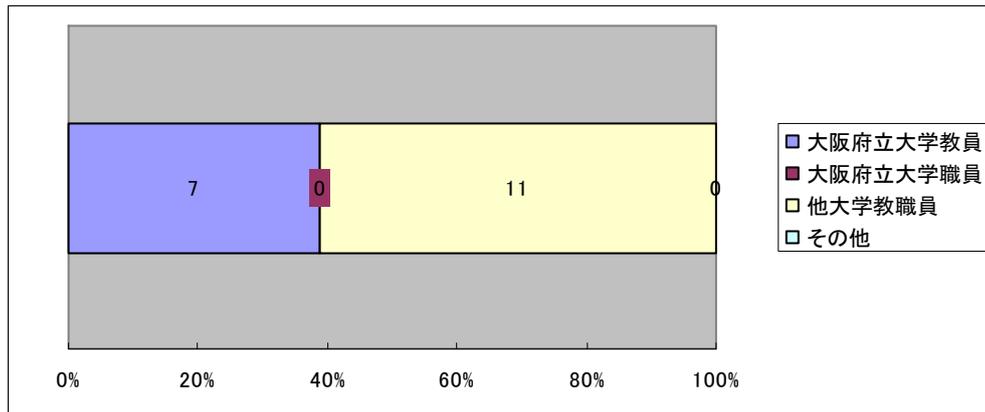
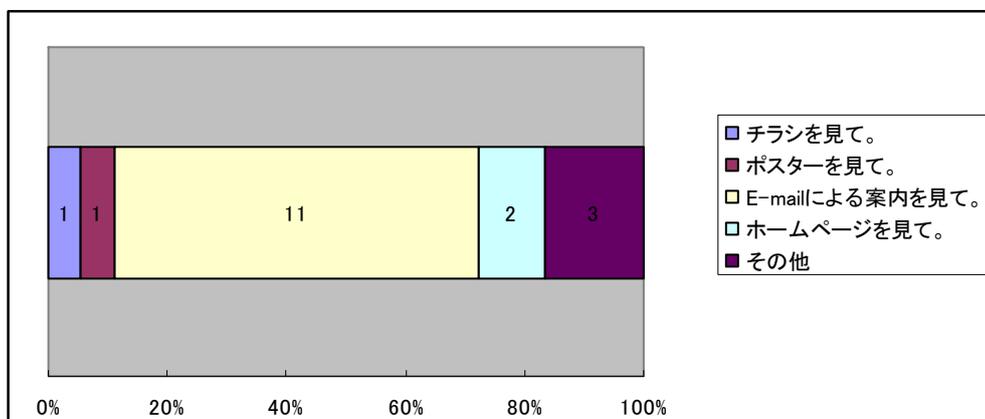


## 【アンケート結果】

### (1) 参加者の所属

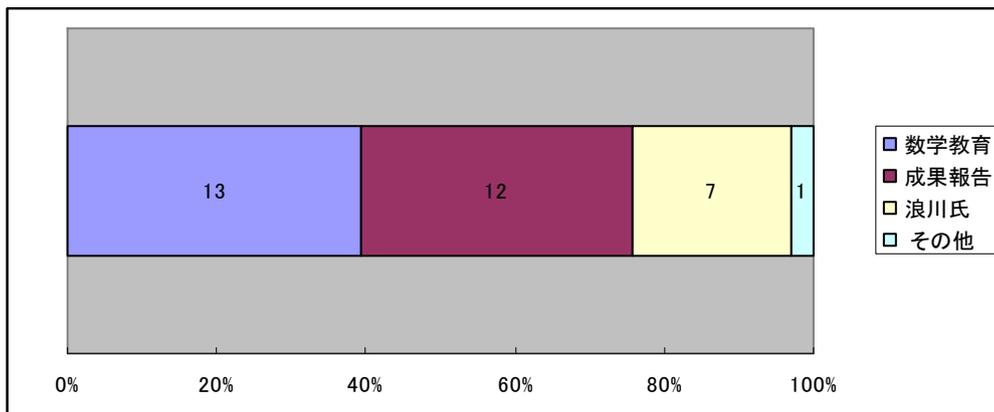


### (2) 本シンポジウムを何で知ったか



- その他
- ・ 所属大学の戦略G Pの副室長からの案内による。
  - ・ 文科省フォーラムの際、及びポスター郵送により。
  - ・ 学外連携により。

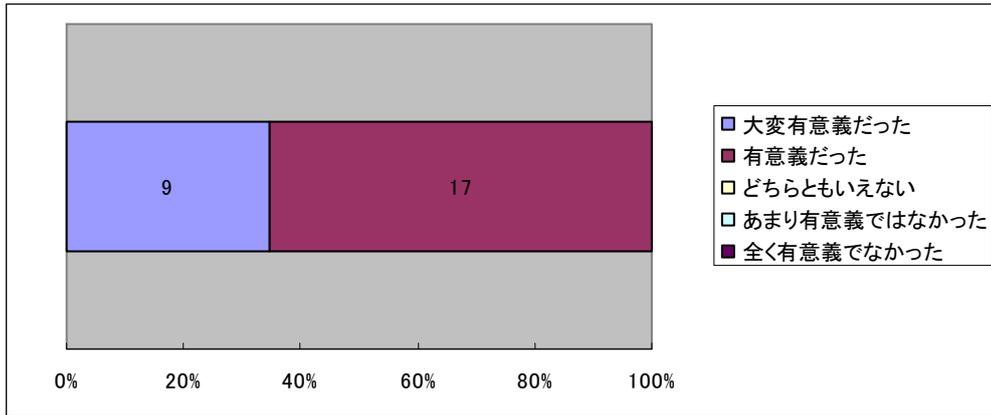
### (3) 参加理由 (複数回答可)



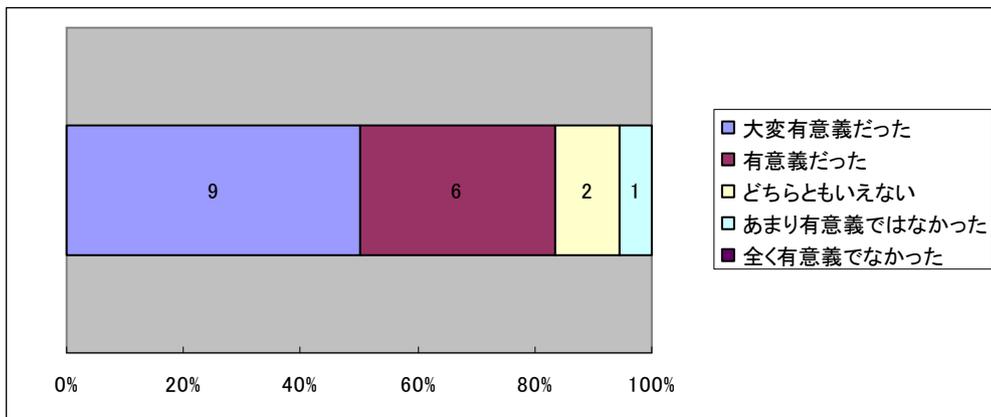
- 数学基礎教育に興味があったから。
- 特色G P「大学初年次数学教育の再構築」成果報告の内容に興味があったから。
- 浪川幸彦氏の講演の内容に興味があったから。
- その他 どのように教えたら効果的なのかを知るため。

(4) 各講演の評価

(4-1) 「大学初年次数学教育の再構築」 成果報告



(4-2) 講演「リテラシー概念に基づいた大学教養教育—数学教育に例を取って—」



(5) ご意見・ご感想などをお願いします。

・もし可能でしたら、e-learning のコンテンツに数学的応用まで含めたものを解釈できることまでいれていただくとまことにありがたい。その意味で実際の工学（力学担当者）と数学担当者とのすり合わせが必要と思うのですが。

・初年次数学教育としては大変有意義な取組であったと思います。

・有意義な企画に参加させていただきありがとうございました。

・一般的にプロパガンダの下手な数学教員集団ではあるが、地道に教育を行なっている教員集団であると認識している。そのような状況下で数学教育に関し、G Pを取られ、さらに着実に成果を上げられていることに対し敬意を表します。今後も外に向けて数学教育に関し情報発信を続けていただきたく思います。

・大変充実したご発表内容でした。具体的実践課題が見えてきました。講演もリテラシーをはじめ重要な説明でした。遠方から来ましたが、来た甲斐のあるG Pシンポジウムでした。ありがとうございました。

・Web 学習システムの管理者モードを操作してみたい。Web 学習システムは自前で構築したのか、それとも業者構築か。

・学生にとって、毎週講義を受けたいような授業を教員が展開できると、相乗効果で学生の基礎学力が向上すると思われます。

・府立大学の取組は所属先にとっても有益な情報となりました。また、リテラシーの意味がよくわかったつもりです。ありがとうございました。

・PISA に言及するのなら背景にある DeSeCo にも言及して欲しかったです。たとえば、PISA の数学リテラシーはキーコンピテンシーの 1A で読解力との関係が明示されていますが…(明石書店『キーコンピテンシー』P.211)

・  $(\vec{a} + \vec{b}) \cdot \vec{x} = 1$  から  $\vec{x} = \frac{1}{\vec{a} + \vec{b}}$  とか  $\vec{x} = \frac{1}{\vec{a} + \vec{b}} \cdot \frac{\vec{a} - \vec{b}}{\vec{a} - \vec{b}} = \frac{\vec{a} - \vec{b}}{|\vec{a}|^2 - |\vec{b}|^2}$  と解く受験生がいます。

今後はさらに基礎概念の定着に教員側が努力をしないといけなくなると思います。機構での教育も困難を増すと思われませんが、全学体制で学生のケアをしましょう。